

令和元年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属中・高等学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
学校運営	学校運営	中期目標【広域にわたる 教員研修の拠点校とし て、広く西日本各地の教 育力の向上に貢献す る。】	①中等教育に係る研究組織 体として、研究組織と校務分 掌組織との連携性を確認、強 化して、研究と運営の運動性 を図る。 ②業務効率化、労働時間適 正化を図り、運営体制を構築 する。	①学校経営上の各事業をPla n(計画)→Do(実行)→ Check(評価)→Act(改善)サ イクルの可視化をもって遂行 する。 ②学校運営全般にわたる業 務の効率化について検討、 業務を精選し、課題共有と解 決に努める。	①中等教育に係る研究組織体として、研究組織と校務分掌組織との連携を行い、各分掌、学年、教科において具体的行動計画を設定し、取り組みをすすめた。 ②働き方改革ワーキンググループを立ち上げ、課題の共有、解決に向けた取り組みを協議し、業務の効率化への取り組みを始めている。	A	①少子化の中にあっても附属らしさを維持できるよう大学との接渉を密に連携して、十分な予算配分に努力をお願いしたい。 ②働き方ワーキングが設置され、働き方の見直しへの実働化が図られている。成果に期待したい。	A	①中等教育に係る研究組織体として、教育研究と学校運営の連動、地域との連携について一層の強化を図る。 ②学校行事の精選、業務の効率化への取り組み、および変形労働時間制の効果的な運用により、労働時間の適正化を図るとともに職員意識改革に努める。
	人事	中期目標【広域にわたる 教員研修の拠点校とし て、広く西日本各地の教 育力の向上に貢献す る。】	①教員研修プログラムを策定 して交流人事や教員研修の 機能高め、教員の職能成 長を推進するモデルを示す。	①公立学校からの現職教員 長期研修受け入れおよび人 事交流によって、教員研修を 推進する。本校教員も海外等 での研修に参加する。	①広島県教育委員会との連携を強化し、学校の中核となる教員の育成、現職教員の長期研修(2名)を受け入れ、授業力を向上させた。	A	①教員の研修、および公立学校からの現職教員受け入れの研修もすすめている。学校運営の現状を踏まえた効果的な人事交流・人材育成がなされている。	A	①教員研修プログラムの策定をすすめ、教員研修の機能強化を図る。適正な人事については、大学への要望を継続する。
	広報	中期目標【広域にわたる 教員研修の拠点校とし て、広く西日本各地の教 育力の向上に貢献す る。】	①ホームページやパンフレッ ト等を利用して本校の教育・ 研究活動の広報を行う。	①教育・研究の掲載内容を増 やしてホームページを改善す る。学校案内、学校要覧等の 年度更新に加えて、学校刊 行物を公開し、広報資料の充 実を図る。	①学校刊行物を公開し、広報資料の充実を図った。また、授業実践事例集を公開し、成果を発信した。SSHに関する事業、生徒会活動などの掲載をすすめて充実を図っている。今年度も他県からの視察、学校訪問もあり、外部からも評価を得ている。	A	①ホームページに広報充実が進められ、生徒の主体的な活動の姿がよく発信されている。教育研究大会の公開授業等の「授業実践事例」等が掲載され、実践研究の成果が公立学校へよく反映されている。	A	①ホームページを活用した学校紹介や研究成果公開を一層推進する。他校でも授業実践できるようにするための資料もあわせて授業実践事例として掲載し、実践研究の成果を活用できるように努力する。
	PTA等の諸組織との連携	中期目標【広域にわたる 教員研修の拠点校とし て、広く西日本各地の教 育力の向上に貢献す る。】	①PTAと緊密に連携し、教育 環境の充実を図る。 ②教育後援会との連携により 教育環境の改善を図る。	①PTAやPTA連合会行事に 協力し、保護者と教員の研修 を深める。 ②教育後援会役員会に出席 して教育環境の充実に資する 協議と予算執行を進める。	①PTA事業をすすめて、また、全国国立大学附属学校園PTA連合会研修会へも出席。今日的な教育課題について研修を深めている。②教育後援会とも連携を行い、協議しながら予算執行をしている。情報館の照明器具をLED照明へ更新し、教育環境整備を行った。	A	①通常の事業における研修に加えて、中附P連、全附P連とも連携し、保護者と教員の研修を深めている。 ②本校教育環境改善に資する予算執行が適正に行われた。	A	①PTAと学校との連携を一層強化して、保護者と教員との研修を深める。 ②教育後援会との協議を定期的に行い、教育環境の改善をはかることができるよう支援を受ける。
教育活動	学習指導	中期計画【グローバル人 材に求められる資質・能 力を育成する教育課程及 びその評価方法を開発 する。】	①学習活動を充実させ、目標 の達成度を適切に評価し、学 習指導研究などを展開する。 ②グローバル化に対応した教 育推進を通して学力向上を 図り、資質育成と進路実現を 支援する。	①教科指導を充実させ、課外 指導も実施して学力を向上さ せる。 ②大学や地域、アカシア会の 協力を得て、現場体験学習 やキャリア講座を充実させる。	①充実した学習指導を行い、生徒・保護者からの評価は高い。教学オリンピック(イギリス大会)で銅賞受賞(昨年に続き2年連続銅賞)。世界レベルで高評価の生徒を輩出。②大学、産学連携、地域、アカシア会の絶大な協力により、現場体験学習、キャリア講座を充実させ、生徒のキャリア意識を向上させた。	A	①SSHの成果、課題研究の深まりにより、着実に主体性のある高度な能力の育成がなされている。今後は多種多様な教育が求められる中、一斉授業だけでなく、個別指導が必要と思われるため、教員数の十分な確保が求められる。 ②大学、地域、アカシア会等から一層の協力を受け、グローバル人材に求められる資質・能力の育成を進められる。	A	①希望する進路の実現に向けて、一層の学力向上を図るなど教科指導を充実させる。多種多様な教育が求められる中、個別対応ができるよう教員数の十分な確保を要求する。 ②大学、地域、アカシア会等から一層の協力を受け、グローバル人材に求められる資質・能力の育成を進められる。
	生徒指導	中期目標【広域にわたる 教員研修の拠点校とし て、広く西日本各地の教 育力の向上に貢献す る。】	①自由・自主・自律を校風と して生徒の自覚を高め、生徒 会活動の充実を図る。 ②生徒会活動、生徒指導を 通じて、社会的ルール遵守や 規範意識を促す。	①生徒が主体的に活動する 学校行事・生徒会行事を支援 する。 ②生徒会組織を活用し、外部 機関にも協力を求めて生活 指導を推進する。	①文化祭、体育祭等の学校行事は、準備期間を見直し、生徒主体の企画運営を支援した。 ②外部機関による研修会を生徒、保護者へ実施し、SNSに関する社会的規範意識を向上させる取り組みを行った。	A	①学校行事、生徒会行事において、生徒の主体性を尊重して充実を図っている。 ②社会的なルール遵守、規範意識向上の指導を行った。	A	①生徒会活動を推進し、自由・自主・自律の精神についての自覚を高める。生徒会行事について、不断の見直しを続けながら運営を支援する。 ②PTAとも協力し、生徒会組織を活用しての規範意識を向上させる生徒指導を継続する。

注)  太枠内は、学校関係者評価委員会が記入する。

令和元年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属中・高等学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
教育活動	保健指導	中期目標【広域にわたる教員研修の拠点校として、広く西日本各地の教育力の向上に貢献する。】	①心身ともに健康な学校生活の実現を図る。 ②チーム学校として、心身に課題を抱える生徒を支援し、生徒の健全な人間観を育成する。 ③清掃活動を充実させ、校内美化の向上と美化意識の高揚を図る。	①②保護者、学校医やスクールカウンセラー、外部専門機関との連携を強化した生徒相談を充実させる。 ③生徒会組織を活用した保健指導・美化活動を推進する。	①②スクールカウンセラーを2名に増員。週2回の生徒相談を行い、充実を図っている。心身に課題を抱える生徒の状況把握に努め、スクールカウンセラーとの連携を強化し、助言を受けながら対応した。③保健委員会への指導を通して、教室の環境整備、清掃・ゴミ処理に関する意識を向上させた。	A	①スクールカウンセラーの増員が図られたことはよかった。今後もきめ細やかな相談活動のより一層の充実努力实现してまいり。 ②生徒会組織の活用により、環境美化活動に取り組んでいる。	A	①スクールカウンセラーや外部機関との連携を一層強化した組織的な対応により、生徒一人ひとりが心身ともに健康な学校生活を送ることが出来るよう生徒相談を充実させる。 ②生徒会組織を活用して校内美化の向上と美化意識の高揚を図り、学習環境の保持に努める。
研究活動	研究開発(スーパーサイエンスハイスクール)	中期計画【グローバル人材に求められる資質・能力を育成する教育課程及びその評価方法を開発する。】	①第4期2年次として、研究課題「社会に開かれた科学技術を先導する人材育成」の基盤となる学校設定教科「SAGAs」の開発をすすめる。 ②大学との協働により、高大接続プログラムを構築する。	①学校設定教科「SAGAs」の各科目の年間指導計画、授業教材、評価規準・評価指標等の具体的な提案を行う。 ②広島大学高大接続、入学センターの協力を得て、年間計画の策定や人的支援等整備を進め、高大接続・連携プログラムを構築する。	①第4期2年次として学校設定教科「SAGAs」の全9科目の年間指導計画・評価計画(シラバス)を完成させた。各科目のパフォーマンス評価の結果に基づき効果を検証している。 ②広島大学の支援により高大接続プログラムを実施。広島大学の教養科目、専門科目を高校2年生が受講した。次年度から広島大学によるAP(アドバンスド・プレースメント)を開始予定。	A	①SSH第4期2年目において学校設定教科「SAGAs」による新カリキュラムの充実が図られている。 ②高大接続のプログラムの実施へ向けて広島大学との連携した体制作りが始まっている。広島大学などとの単位の互換など、一層の高大連携の推進を期待する。	A	①SSH第4期3年目においてこれまで開発してきた指導・評価方法の成果と普及をはかるとともに、各科目の年間指導計画の改良、改善及び教材開発に努める。 ②高大接続プログラムに関して広島大学によるAP(アドバンスド・プレースメント)を開始し、システムの構築をすすめていく。
	中等教育研究大会	中期目標【広域にわたる教員研修の拠点校として、広く西日本各地の教育力の向上に貢献する。】	①教育研究大会を開催し、全国の教員に実践研究の成果を提供する。	①研究主題「『学ぶ』から『探す』へ」中・高6か年の学びの地図」を設定。各教科ならびに通教科的な視点から「学び」と「探究」のつながりを意図した教育実践に取り組み、その成果を広く発信、提供する。	今年の教育研究大会は平日に開催したが、広島県教育委員会からも全教科へ参加があり、全参加者数は昨年度より多く、500名をこえた。学びと探究のつながりを意図した教育実践を発信し、参加者からも好評を得ている。	A	①研究大会を通して、学習指導要領改訂へ向けて全国の教員への教育支援がなされている。公開授業の学習指導案や研究協議等の記録だけでなく授業実践事例がWebページに掲載されている。研究成果が活用されていることが可視化され、エビデンスとして示されている。	A	①次期学習指導要領の主旨に合わせた教育研究大会を開催し、活用される資料の提供をさらに工夫する。また、中・高6か年「学びの地図」の作成のために学校全体としてさらなる研究をすすめる。
	学部・附属学校共同研究	中期目標【教育研究、教育実習にグローバルな視点を取り入れる。】	①大学と共同で研究プロジェクトに参加し、英語での研究成果発信を進める。	①研究プロジェクトへの応募を推奨し、英語による研究成果発表を推進する。	英語による成果発表が条件となったプロジェクトをすすめており、本校教員が代表者となっているプロジェクトも、年度末に英文での報告書が掲載される。	A	①英語による成果発表、報告書が作成され、広島大学との共同プロジェクト研究が積極的に進められている。	A	①広島大学、附属学校間との共同研究を積極的にすすめて、その成果発表を推進する。
教育実習	教育実習	中期計画【教育実習生に、グローバルマインドを育成する指導法やアクティブ・ラーニングなど新しい学びの方法を修得させる。】	①教育実習生の教科指導力、授業力を育成するとともに適切に評価し、その分析に基づく実習指導研究を展開し、指導の改善を図る。	①教科指導を中心に実習の充実を図り、アクティブ・ラーニングなど新しい学びの指導方法も習得させ、高い達成感が得られるようにする。	教科指導について96.5%の実習生が満足と回答、98.8%の実習生が授業力が向上したと回答するなど高い達成感のある実習が行われている。また、数学と理科では、英文での指導案を作成指導し、グローバルマインドの育成を図った。	A	①教育実習生の充実感、達成感が高まっていることを評価したい。しかしながら、実習生と生徒・保護者の評価が乖離しているようだ。より一層の充実の中で、生徒の刺激にもなっていることに着目し、この点について保護者に理解してもらえることが望まれる。	B	①教育実習生の教科指導力、授業力向上を図るため、大学と協力して教育実習指導の方法や評価方法について教育実習指導研究を展開し、教育実習指導の改善を図る。
先進的、先駆的な研究推進	グローバル教育推進 ユネスコ教育	中期計画【グローバル人材に求められる資質・能力を育成する教育課程及びその評価方法を開発する。】	①ユネスコ・スクールに係る教育活動を軸に、グローバル化に対応した教育の思想及び構造を策定する。 ②SSH, SDGsに関わる教育を研究・推進し、グローバルな展開を構想する。	①生徒のユネスコ活動等を支援し、グローバル・コンピテンシーの育成を推進する。 ②海外連携校との共同プログラムを実施する。	①生徒のユネスコ活動、高校生平和大使の国際的活動を支援して、活動成果のフィードバックによって全校へ普及させた。 ②海外連携校との課題研究協働プログラムを実施し、生徒の科学的に探究する力やコミュニケーション・プレゼンテーション能力の伸長を図った。	A	①広島で学び育つことの意味を大切に国際感覚を豊かに持った人材の育成が着実になされている。 ②SAGAsのGである国際性の取り組みは進められ一定の効果を得ていると評価する。	A	①ユネスコ委員会やユネスコ班、個人での活動も引き続き支援し、ユネスコ・スクールとしての学校での研究実践も行う。 ②グローバル・コンピテンシーの育成を進めるため、従来から実施の事業についても見直し、改善を図りながら海外連携プロジェクトの計画を行う。
	国際交流	中期目標【教育研究、教育実習にグローバルな視点を取り入れる。】	①教職員、生徒の海外研修、海外学校との交流事業計画を策定し、チーム学校としてグローバルマインドの高揚を図り、成果を発信する。	①国連のSDGsを主題にしたグローバル教育を推進し、海外研修プログラムをより改善して実施する。広島県国際課や教育委員会等との連携する。海外からの学校訪問には積極的に応じて交流を図る。	①学校主催海外研修は72名参加予定であったが、コロナウイルスによる感染症流行の影響により中止。7月には中国四川省青年交流団の訪問を受け入れ、日本の文化やSDGsなどについてディスカッションを行った。また、スウェーデンやモロッコからの学校訪問も受け入れ、現代的な教育課題の共有を行った。	B	①海外研修においてSDGsの視点を取り入れたプログラム開発を始めている。3月実施の海外研修は中止となったが、コロナウイルス感染拡大防止のため止むを得ない事情である。今年度も海外からの多くの訪問に対して、積極的に対応している。グローバルマインドの高揚が図られている。	A	①学校主催の海外研修への参加のほか、他機関が主催する研修の参加への応募も推奨する。海外からの訪日研修では、共同で授業を実施するため止むを得ない事情である。今年度実施においては、感染拡大リスクを考慮し、中止、延期の対応を行うなど慎重に判断する。

注) □太枠内は、学校関係者評価委員会が記入する。